



こころひとし

一

手

一

じゅうほう

自由の守護

天理大学ラグビー部が掲げるスローガン「二手一つ UNITY OF MINDS」。令和3年、全国大学ラグビー選手権で初優勝したとき、この「二手一つ」が大きく取り上げられました。一般に「二手」とは、「碁で石を一つ打つこと。その方法だけで押し通すこと。自分一人だけで扱うこと」というような意味に使われます。もちろん一手一つは、この一手と違います。教祖の仰せられる「二手一つ」とは、積極的に心を一つに揃えることを意味します。複数の人が、ばらばらの心で別々の行動をとるのでなく、一つの目標に向かって真底ひとつ心になること。その上で、各々の立場や徳分、能力に応じて力を合わせ、互い扶け合って、調和のとれた行動をすることです。

「二手一つの心に、自由の守護が頂ける。いかに多くのものが相集っても、一手一つの理を欠くならば、親神に受け取って頂けない。人皆、相互に一つの道の理に心を合せ、互立して合い扶け合ってこそ、陽気に勇んで生活して行ける。真の陽気ぐらしは、ここに全うされる。」（天理教教典・第十章「陽気ぐらし」より）

真柱様は今年（立教188年）の「年頭あいさつ」で、一手一つになるためには、「まず一人ひとりが、教祖の思召に心を合わせることである。すなわち、神一条になることである」と強調されました。

三年千日の締めくくりの年、一手一つに思召に応える歩みをさせていただきます。ス道会別席団参（5月25日・11月30日）です。

本島大教会布教部（真）



天理教本島大教会